

おともがわ

学校報 NO, 20

保護者版

平成28年 8月24日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

みんな元気に登校!!

今のところ大きな事故・病気等の知らせは入っておりませんので、子どもたちは32日間の楽しい夏休みを過ごしてくれたことと感謝申し上げます。また、この夏休みは天候にも恵まれプール開放予定の12日間全て実施でき、延べ570名の利用があり、午後の校地内に歓声が上がっていました。プール監視をお引き受け下さいました保護者の皆様には感謝申し上げます。



夏休みの出来事から思う



夏休み前にミニコンサートを行って臨んだ「秋田県小学校バンドフェスティバル」で器楽部が『エネルギーサウンド賞』を受賞しました。当日の演奏はミニコンサート時以上に迫力のある演奏で、保護者の方々も目を潤ませて感激しておられました。

また、8月6日に行われた「東北学童軟式野球新人大仙支部予選大会」では、5年生一人だけのチームでありながら積極的にせめ、しっかりと守り抜き、試合を通して成長してゆく姿が見られ嬉しく思いました。そんな子どもたちの更なる成長を願いつつ、

以下のような内容を夏休み明け集会で話しました。これからも素敵な応援団でいて下さい。

皆さん、夏休みはどうでしたか。プールに12日間毎日通ってきた人はいますか。さて、夏休み前集会で「努力は報われる」というお話をし、オリンピック選手でも、始めから今のようにプレーできたわけではないと伝えました。皆さんはリオオリンピックでどんなことに感動しましたか。そうですね。沢山の感動がありましたね。個人的には、柔道男子73kg級で金メダリストとなった大野将平選手の受賞の感想で「当たり前前を当たり前にするという難しさを改めて感じました」という言葉が印象に残っています。もちろん、他競技での活躍にも沢山の感動をもらいました。ところで私は、夏休み前に読んだ「明日をちょっぴりがんばれる48の物語」という本の中にあつた錦織圭選手の行動がとても心に残ったので皆さんに紹介します。あるとき、錦織選手のライバルの1人マリン・チリッチと対戦して破れた錦織選手が、その試合の後にマリン・チリッチ選手のコーチのボブ・ブレッドさんに「僕はもう強くなれますか」と質問したそうです。繰り返しますが、自分が負けた試合の直後に、その選手のコーチに対して質問したのです。臆することなく、あつげらんかとアドバイスを求めてしまう、この姿勢がすごい。この食欲さが「強くなる秘訣」です。では、ボブさんはどうしたでしょう。質問されたボブさんも器が大きくて、ポジショニングについてアドバイスしてくれたそうです。この積極果敢な姿勢が錦織選手を日々進化させ銅メダル獲得につながったのだと思います。私たちも、この姿勢を見習い、自分を進化させていきたいものですね。更に、オリンピックの個人競技では入賞できなかったけれど、バトンパスを駆使して銀メダルを勝ち取った400MR競技からは、チーム力の大切さを学びました。どうでしょうか？私たちの身の回りには、チーム力によって見違えるように改善されることが沢山あります。登校班・すこやかグループ・学級・学校と。至る所でチーム力が発揮され、皆さんの力で内小友小学校を今まで以上に素晴らしい学校にしていくことを期待しています。